

二枚貝養殖漁場環境調査

川名 拓里・牟田 圭司・津城 啓子・梅田 智樹

二枚貝養殖漁場における漁場環境調査と餌料となる珪藻数のモニタリング調査を実施するとともに、二枚貝養殖に関する情報の収集・伝達を行った。

調査内容

調査は、令和4年5月～令和5年3月に図1に示した12地点で毎月2もしくは3地点を選択し実施した。調査日及び調査地点を表1に示した。

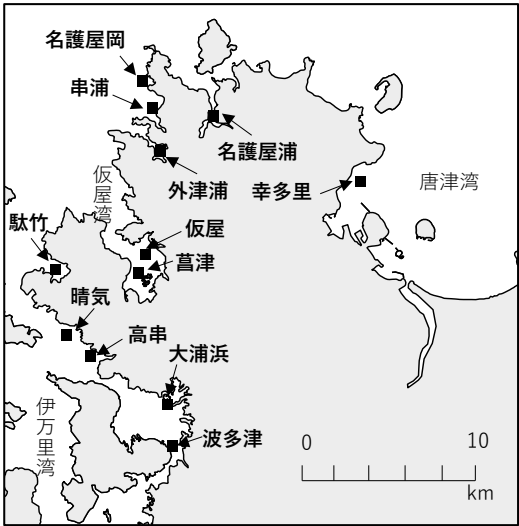


図1 二枚貝養殖漁場調査の調査地点

表1 二枚貝養殖漁場調査日及び調査地点

調査日	調査地点		
5月 10日	幸多里	名護屋岡	晴気
5月 24日	外津	駄竹	高串
6月 21日	名護屋浦	飯屋	波多津
7月 27日	菖津	大浦浜	
8月 23日	幸多里	名護屋岡	晴気
9月 27日	外津	駄竹	高串
10月 24日	飯屋	波多津	
25日	名護屋浦		
11月 24日	名護屋岡	菖津	大浦浜
12月 20日	幸多里	串浦	晴気
1月 31日	駄竹	高串	
2月 1日	外津		
2月 21日	名護屋浦	飯屋	波多津
3月 17日	串浦	菖津	大浦浜

調査項目のうち、水温、塩分、溶存酸素量（D0）、Chl-aは多項目水質計（JFEアドバンテック社 AAQ175・176）を用いて0.1m間隔での鉛直観測を行った。また、

各調査地点の水深2m層の海水を採水し、採水サンプルのうち0.5mLを検鏡し全珪藻の計数を行った。

結 果

多くの二枚貝の垂下水深となる2m層の水温及び全珪藻数を表2に示した。水温は、11.7～29.8℃で推移し、全珪藻数は、0～3,830cells/mLで推移していた。

表2 二枚貝養殖漁場調査結果（水温・全珪藻数）

調査地点	調査日	水温 (℃)	全珪藻数 (cells/mL)
幸多里	5月10日	19.2	480
	8月23日	29.5	3,830
	12月20日	15.1	0
名護屋浦	6月21日	22.2	68
	10月25日	20.2	1,780
	2月21日	13.2	22
名護屋岡	5月10日	17.9	290
	8月23日	29.2	38
	11月24日	19.9	16
串浦	12月20日	15.8	0
	3月17日	15.3	6
外津	5月24日	19.9	58
	9月27日	23.8	1,060
	2月1日	12.6	0
飯屋	6月21日	23.1	34
	10月24日	22.1	2,670
	2月21日	13.3	6
菖津	7月27日	27.8	2,830
	11月24日	19.4	44
	3月17日	15.0	12
駄竹	5月24日	20.1	62
	9月27日	23.5	1,760
	1月31日	13.2	4
晴気	5月10日	18.5	245
	8月23日	29.8	126
	12月20日	15.0	5
高串	5月24日	21.2	904
	9月27日	24.4	730
	1月31日	11.7	6
大浦浜	7月27日	29.1	70
	11月24日	17.9	32
	3月17日	14.3	146
波多津	6月21日	24.4	288
	10月24日	21.7	20
	2月21日	12.0	16

また、調査毎に結果を取りまとめて「二枚貝養殖情報」を発行し、関係漁協等にFAX送信するとともに、当センターホームページ上で公開し、また当センター公式LINEにて配信した（資料1－1～3）。

令和4年8月23日発行

令和4年度二枚貝養殖情報（第5報）

佐賀県玄海水産振興センター
普及加工担当 川名、津城
☎0955-74-3021

●二枚貝養殖状況の現地調査結果（調査日：令和4年8月23日）

	幸多里	名護屋岡	晴気
水深2m層の水溫（℃）	29.5	29.2	29.8
珪藻類の細胞密度（細胞/ml）	3,830	38	126

※採水層は2m

○垂下連への付着物は、例年より少ない傾向ですが、一部でムラサキガイ（カラスガイ）やホヤ類、カイメン類が確認されました。

○マガキの平均殻高は、約80ミリでした。

○マガキのへい死は、1～3割程度確認されました。

○天気は向こう1ヵ月、気温は平年より高く、降水量は平年並みか多くなる予報です。

天候を確認しながら、垂下深度などの調節を行いましょう。

○これから台風の手前になります。筏の管理等にご注意ください。

○伊万里湾でカレニア・ミキモトイが確認されています。

赤潮情報を確認し、養殖管理にご注意ください。

※赤潮プランクトン情報にて、毎月上旬の珪藻類の細胞密度を掲載します。

★水温・塩分等は自動観測データをご利用ください

（自動観測システム設置場所：幸多里、名護屋浦、仮屋、波多津）
URL：<http://telemeter-area.jp/saga/saga/saga.htm>

●気温1ヶ月予報（九州北部地方（山口県含む））

8/20～8/26

10

30

60

8/27～9/2

20

40

40

9/3～9/16

20

30

50

出典：気象庁 季節予報（閲覧日：8月23日）
URL：https://www.jma.go.jp/bosai/season/#area_type=offices&area_code=410000&term=1month

令和4年9月27日発行

令和4年度二枚貝養殖情報（第6報）

佐賀県玄海水産振興センター
普及加工担当 川名、津城
☎0955-74-3021

●二枚貝養殖状況の現地調査結果（調査日：令和4年9月27日）

	外津	駄竹	高串
水深2m層の水溫（℃）	23.8	23.5	24.4
珪藻類の細胞密度（細胞/mL）	1,060	1,760	730

※採水層は2m

○垂下連への付着物は、少なめ～平年並みで、フジツボやムラサキガイ（カラスガイ）やホヤ類が確認されました。

○マガキの平均殻高は、約94ミリでした。

○マガキのへい死は、全体として平年より高く、一部では8割程度確認されています。

○マガキ等のシーズが始まりますが、計画的な出荷の準備を行いましょう。

○バラシを行った際は、過密にならないように気をつけましよう。（カゴ内の個数、垂下深度のカゴ数）

○天気は向こう1ヵ月、気温は平年より高く、特に期間の前半はかなり高くなる可能性があり、降水量はほぼ平年並みになる予報です。

天候を確認しながら、垂下深度などの調節を行いましょう。

○今後も台風の手前の可能性があります。筏や垂下連の管理等にご注意ください。

※赤潮プランクトン情報にて、毎月上旬の珪藻類の細胞密度を掲載します。

★水温・塩分等は自動観測データをご利用ください

（自動観測システム設置場所：幸多里、名護屋浦、仮屋、波多津）
URL：<http://telemeter-area.jp/saga/saga/saga.htm>

●気温1ヶ月予報（九州北部地方（山口県含む））

9/24～9/30

10

10

80

10/1～10/7

10

30

60

10/8～10/21

20

30

50

出典：気象庁 季節予報（閲覧日：9月27日）
URL：https://www.jma.go.jp/bosai/season/#area_type=offices&area_code=410000&term=1month

令和4年10月25日発行

令和4年度二枚貝養殖情報（第7報）

佐賀県玄海水産振興センター
普及加工担当 川名、津城
☎0955-74-3021

●二枚貝養殖状況の現地調査結果（調査日：令和4年10月24日、25日）

	名護屋浦 （10月25日）	仮屋 （10月24日）	波多津 （10月24日）
水深2m層の水溫（℃）	20.2	22.1	21.7
珪藻類の細胞密度（細胞/mL）	1,780	2,670	20

※採水層は2m
（ ）は調査日

○垂下連への付着物は、少なめ～平年並みで、一部でフジツボやムラサキガイ（カラスガイ）が多く確認されました。

○マガキの平均殻高は、約82ミリで、生残率は平年並みでした。

○一部の漁場では出荷が始まりますが、計画的な出荷を行いましょう。

○バラシを行った際は、過密にならないように気をつけましよう。（カゴ内の個数、カゴの垂下深度）

○天気は向こう1ヵ月、気温は平年並みが高く、降水量はほぼ平年並みになる予報です。

天候を確認しながら、垂下深度などの調節を行いましょう。

※赤潮プランクトン情報にて、毎月上旬の珪藻類の細胞密度を掲載します。

★水温・塩分等は自動観測データをご利用ください

（自動観測システム設置場所：幸多里、名護屋浦、仮屋、波多津）
URL：<http://telemeter-area.jp/saga/saga/saga.htm>

●気温1ヶ月予報（九州北部地方（山口県含む））

10/22～10/28

20

50

30

10/29～11/4

20

40

40

11/5～11/18

30

30

40

出典：気象庁 季節予報（閲覧日：10月25日）
URL：https://www.jma.go.jp/bosai/season/#area_type=offices&area_code=410000&term=1month

令和4年11月24日発行

令和4年度二枚貝養殖情報（第8報）

佐賀県玄海水産振興センター
普及加工担当 川名、津城
☎0955-74-3021

●二枚貝養殖状況の現地調査結果（調査日：令和4年11月24日）

	名護屋岡	菴津	大浦浜
水深2m層の水溫（℃）	19.9	19.4	17.9
珪藻類の細胞密度（細胞/mL）	16	44	32

※採水層は2m

○垂下連への付着物は、平年並み～多く、一部でカイメン類やホヤ類、海藻類が多く確認されました。

○マガキの平均殻高は、約104ミリで、生残率は平年並みでした。

○マガキ、ヒオウギガイの出荷盛期となっていますが、計画的な出荷を行いましょう。

○バラシを行った際は、過密にならないように気をつけましよう。（カゴ内の個数、カゴの垂下深度）

○天気は向こう1ヵ月、気温は平年並みが高いですが、期間内で変動が大きく、降水量はほぼ平年並みになる予報です。

天候を確認しながら、垂下深度などの調節を行いましょう。

※赤潮プランクトン情報にて、毎月上旬の珪藻類の細胞密度を掲載しています。

★水温・塩分等は自動観測データをご利用ください

（自動観測システム設置場所：幸多里、名護屋浦、仮屋、波多津）
URL：<http://telemeter-area.jp/saga/saga/saga.htm>

●気温1ヶ月予報（九州北部地方（山口県含む））

11/26～12/2

10

30

60

12/3～12/9

50

40

10

12/10～12/23

30

40

30

出典：気象庁 季節予報（閲覧日：11月24日）
URL：https://www.jma.go.jp/bosai/season/#area_type=offices&area_code=410000&term=1month

令和4年12月20日発行

令和4年度二枚貝養殖情報（第9報）

佐賀県玄海水産振興センター
普及加工担当 川名、津城
☎0955-74-3021

●二枚貝養殖状況の現地調査結果（調査日：令和4年12月20日）

	幸多里	串浦	晴気
水深2m層の水温（℃）	15.1	15.8	15.0
珪藻類の細胞密度（細胞/mL）	0	0	5

※採水層は2m

○垂下連への付着物は、平年並み～多く、一部でサンゴ藻やカイメン類等を確認しました。
○マガキの平均殻高は、約97.8ミリで、生残率は平年並みでした。また、むき身重量も水温の低下に伴い、増加傾向にあるとのことでした。
○マガキ、ヒオウギガイの出荷盛期となっていますが、計画的な出荷を行いましょう。
○バラシを行った際は、過密にならないように気をつけましょう。
（カゴ内の個数、カゴの垂下深度）
○天気は向こう1ヵ月、気温は寒気の影響を受けやすいため低く、特に期間のはじめはかなり低い日があり、降水量はほぼ平年並みになる予報です。
天候を確認しながら、垂下深度などの調節を行いましょう。
※赤潮プランクトン情報にて、毎月上旬の珪藻類の細胞密度を掲載しています。

★水温・塩分等は自動観測データをご利用ください

（自動観測システム設置場所：幸多里、名護屋浦、仮屋、波多津）
URL：<http://telemeter-area.jp/saga/saga/saga.htm>

●気温1ヶ月予報（九州北部地方（山口県含む））

12/17～12/23

12/24～12/30

12/31～1/13

低い

平年並み

高い

70

50

40

20

40

20

10

10

20

出典：気象庁 季節予報（閲覧日：12月20日）
URL：https://www.jma.go.jp/bosai/season/#area_type=offices&area_code=410000&term=1month

令和5年2月1日発行

令和4年度二枚貝養殖情報（第10報）

佐賀県玄海水産振興センター
普及加工担当 川名、津城
☎0955-74-3021

●二枚貝養殖状況の現地調査結果

（調査日：令和5年1月31日、2月1日）

	外津 （2月1日）	駄竹 （1月31日）	高串 （1月31日）
水深2m層の水温（℃）	12.6	13.2	11.7
珪藻類の細胞密度（細胞/mL）	0	4	6

※採水層は2m
（ ）は調査日

○調査地点では、珪藻類は少ない傾向です。
○垂下連への付着物は、平年並み～多く、主にサンゴ藻やカイメン類等を確認しました。
○マガキの平均殻高は、約107ミリで、生残率は平年より少ない～並みでした。むき身重量も水温の低下に伴い、増加傾向にあるとのことでした。
○マガキ、ヒオウギガイの出荷盛期となっていますが、計画的な出荷を行いましょう。
○バラシを行った際は、過密にならないように気をつけましょう。
（カゴ内の個数、カゴの垂下深度）
○天気は向こう1ヵ月、気温はほぼ平年並みで、降水量は平年並みか少なくなる予報です。
天候を確認しながら、垂下深度などの調節や稚貝の管理を行いましょう。
※赤潮プランクトン情報にて、毎月上旬の珪藻類の細胞密度を掲載しています。

★水温・塩分等は自動観測データをご利用ください

（自動観測システム設置場所：幸多里、名護屋浦、仮屋、波多津）
URL：<http://telemeter-area.jp/saga/saga/saga.htm>

●気温1ヶ月予報（九州北部地方（山口県含む））

1/28～2/3

2/4～2/10

2/11～2/24

低い

平年並み

高い

40

30

30

40

50

30

20

20

40

出典：気象庁 季節予報（閲覧日：2月1日）
URL：https://www.jma.go.jp/bosai/season/#area_type=offices&area_code=410000&term=1month

令和5年2月21日発行

令和4年度二枚貝養殖情報（第11報）

佐賀県玄海水産振興センター
普及加工担当 川名、津城
☎0955-74-3021

●二枚貝養殖状況の現地調査結果（調査日：令和5年2月21日）

	名護屋浦	仮屋	波多津
水深2m層の水温（℃）	13.2	13.3	12.0
珪藻類の細胞密度（細胞/mL）	22	6	16

※採水層は2m

○調査地点では、珪藻類は少ない傾向です。
○垂下連への付着物は、平年並みで、主にサンゴ藻やカイメン類等を確認しました。
○マガキの平均殻高は、約106ミリで、生残率は平年より少ない～並みでした。むき身重量も水温の低下に伴い、増加傾向にあるとのことでした。
○マガキの稚貝の平均殻高は、11月の導入分で約42ミリ、1月の導入分で約20ミリでした。
○マガキ、ヒオウギガイの出荷後半となっていますので、計画的な出荷を行いましょう。
○バラシを行った際は、過密にならないように気をつけましょう。
（カゴ内の個数、カゴの垂下深度）
○天気は向こう1ヵ月、気温は平年並みが高く、降水量は平年並みか少なくなる予報です。
※赤潮プランクトン情報にて、毎月上旬の珪藻類の細胞密度を掲載しています。

★水温・塩分等は自動観測データをご利用ください

（自動観測システム設置場所：幸多里、名護屋浦、仮屋、波多津）
URL：<http://telemeter-area.jp/saga/saga/saga.htm>

●気温1ヶ月予報（九州北部地方（山口県含む））

2/18～2/24

2/25～3/3

3/4～3/17

低い

平年並み

高い

20

20

30

50

40

40

30

40

30

出典：気象庁 季節予報（閲覧日：2月21日）
URL：https://www.jma.go.jp/bosai/season/#area_type=offices&area_code=410000&term=1month

令和5年3月17日発行

令和4年度二枚貝養殖情報（第12報）

佐賀県玄海水産振興センター
普及加工担当 川名、津城
☎0955-74-3021

●二枚貝養殖状況の現地調査結果（調査日：令和5年3月17日）

	串浦	菴津	大浦浜
水深2m層の水温（℃）	15.3	15.0	14.3
珪藻類の細胞密度（細胞/mL）	6	12	146

※採水層は2m

○調査地点では、珪藻類は少ない傾向です。
○垂下連への付着物は、平年並みで、主にカイメン類やホヤ類等を確認しました。
○マガキの稚貝の平均殻高は、12月の導入分で約30ミリでした。
○天気は向こう1ヵ月、気温は高く、特に期間の前半はかなり高くなり、降水量は多くなる予報です。水温などを確認しながら、垂下作業を行いましょう。
※赤潮プランクトン情報にて、毎月上旬の珪藻類の細胞密度を掲載しています。

★水温・塩分等は自動観測データをご利用ください

（自動観測システム設置場所：幸多里、名護屋浦、仮屋、波多津）
URL：<http://telemeter-area.jp/saga/saga/saga.htm>

●気温1ヶ月予報（九州北部地方（山口県含む））

3/18～3/24

3/25～3/31

4/1～4/14

低い

平年並み

高い

10

10

20

80

80

30

80

50

50

出典：気象庁 季節予報（閲覧日：3月17日）
URL：https://www.jma.go.jp/bosai/season/#area_type=offices&area_code=410000&term=1month

資料1-3 二枚貝養殖情報（第9報～第12報）